

病院勤務医の負担の軽減及び処遇の改善に資する体制（7月報告）

（□には、適合する場合「✓」を記入すること）

(1) 地域医療体制確保加算の算定状況

算定開始時点(年 月)

備考※()

※ 算定開始後、当該加算を辞退した年月などがあれば具体的に記載すること。

(2) 病院勤務医の勤務時間及び当直を含めた夜間の勤務状況の把握

(令和4年7月1日時点)

ア 医療機関に勤務する医師数

常勤: ()名

非常勤: ()名

宿日直(※1)を担当する医師()名(うち非常勤()名)

※1 宿日直については、平日の平均的な1日における体制を記載すること

イ 病院勤務医の勤務状況の把握等(令和4年6月分)

(ア) 勤務時間の具体的な把握方法

☐ タイムカード、ICカード

☐ 出席簿又は管理簿等の用紙による記録(上司等による客観的な確認あり)

☐ その他

(具体的に:)

(イ) 勤務時間以外についての勤務状況(※2)の把握内容

☐ 年次有給休暇取得率

☐ 時短勤務実施者(※3)数

☐ 育児休業・介護休業の取得率

☐ その他

(具体的に:)

※2 前年度の実績を記載。

※3 所定労働時間をあらかじめ減じた勤務体制としている者

(ウ) 超過勤務時間(時間/月)(※4)

平均: ()時間/月

80時間/月以上の者の人数: ()名

最大: ()時間/月

155時間/月以上の者の人数: ()名

最小: ()時間/月

※4 常勤医における値を記載。

※4 超過勤務時間: 法定休日以外の日において1日につき8時間を超えて労働した時間並びに1週について40時間を超えて労働した時間数及び法定休日(週に1日、又は、4週につき4日付与する義務あり)において労働した時間の総和

(エ) 宿日直(回/月)

平均: ()回/月

最大: ()回/月

最小: ()回/月

連日当直を実施した者の人数及び回数: ()名・のべ()回

(オ) その他(自由記載・補足等)

(令和3年7月1日時点)

ア 医療機関に勤務する医師数

常勤: ()名

非常勤: ()名

宿日直(※1)を担当する医師()名(うち非常勤()名)

※1 宿日直については、平日の平均的な1日における体制を記載すること

イ 病院勤務医の勤務状況の把握等(令和3年6月分)

(ア) 勤務時間の具体的な把握方法

☐ タイムカード、ICカード

☐ 出席簿又は管理簿等の用紙による記録(上司等による客観的な確認あり)

☐ その他

(具体的に:)

(イ) 勤務時間以外についての勤務状況(※2)の把握内容

☐ 年次有給休暇取得率

☐ 時短勤務実施者(※3)数

☐ 育児休業・介護休業の取得率

☐ その他

(具体的に:)

※2 前年度の実績を記載。

※3 所定労働時間をあらかじめ減じた勤務体制としている者

(ウ) 超過勤務時間(時間/月)(※4)

平均: ()時間/月

80時間/月以上の者の人数: ()名

最大: ()時間/月

155時間/月以上の者の人数: ()名

最小: ()時間/月

※4 常勤医における値を記載。

* 4 超過勤務時間: 法定休日以外の日において1日につき8時間を超えて労働した時間並びに1週について40時間を超えて労働した時間数及び法定休日(週に1日、又は、4週につき4日付与する義務あり)において労働した時間の総和	
(エ) 宿日直(回/月)	平均: ()回/月 最大: ()回/月 最小: ()回/月 連日当直を実施した者の人数及び回数: ()名・のべ()回
(オ) その他(自由記載・補足等)	

(令和2年7月1日時点)

ア 医療機関に勤務する医師数	常勤: ()名	非常勤: ()名
	宿日直(*1)を担当する医師数: ()名(うち非常勤()名)	
* 1 宿日直については、平日の平均的な1日における体制を記載すること		

イ 病院勤務医の勤務状況の把握等(令和2年6月分)

(ア) 勤務時間の具体的な把握方法	<input type="checkbox"/> タイムカード、ICカード <input type="checkbox"/> 出席簿又は管理簿等の用紙による記録(上司等による客観的な確認あり) <input type="checkbox"/> その他 (具体的に:)
(イ) 勤務時間以外についての勤務状況(*2)の把握内容	<input type="checkbox"/> 年次有給休暇取得率 <input type="checkbox"/> 時短勤務実施者(*3)数 <input type="checkbox"/> 育児休業・介護休業の取得率 <input type="checkbox"/> その他 (具体的に:) * 2 前年度の実績を記載。 * 3 所定労働時間をあらかじめ減じた勤務体制としている者
(ウ) 超過勤務時間(時間/月)(*4)	平均: ()時間/月 最大: ()時間/月 最小: ()時間/月 80時間/月以上の者の人数: ()名 155時間/月以上の者の人数: ()名 * 4 常勤医における値を記載。 * 4 超過勤務時間: 法定休日以外の日において1日につき8時間を超えて労働した時間並びに1週について40時間を超えて労働した時間数及び法定休日(週に1日、又は、4週につき4日付与する義務あり)において労働した時間の総和
(エ) 宿日直(回/月)	平均: ()回/月 最大: ()回/月 最小: ()回/月 連日当直を実施した者の人数及び回数: ()名・のべ()回
(オ) その他(自由記載・補足等)	

ウ B水準・C水準等に相当する医師の働き方改革に向けた具体的な取組(実施している取組にチェックし、開始年月を回答)

1 短時間勤務正規雇用医師の活用 <input type="checkbox"/> (年 月)
【要件】短時間勤務正規雇用医師を常勤医師20人につき1人以上雇用していること。
2 オンコール体制の構築 <input type="checkbox"/> (年 月)
【要件】医療機関全体で、医師60人(常勤換算)あたり1人以上オンコール医師がいること。 オンコール医師が所属する診療科の医師は、同じ日に宿日直をしていないこと。
3 複数主治医制の実施 <input type="checkbox"/> (年 月)
【要件】当該医療機関の標榜診療科(外来診療のみの診療科を除く。)のうち半数以上で複数主治医制を導入していること。
4 特定行為研修終了看護師の活用 <input type="checkbox"/> (年 月)
【要件】急性期医療に係る以下の各領域のすべてについて、それぞれ日勤帯には院内に常時特定行為研修終了者がおり、特定行為を行っていること。 ・外科手術後管理領域 ・術中麻酔管理領域 ・外科系基本領域 ・集中治療領域 ・救急領域
5 特定行為研修終了看護師の活用 <input type="checkbox"/> (年 月)
【要件】○対1の割合で医師事務作業補助者を配置していること。 (対1)
6 法令改正によりタスクシフトを可能とした業務の実施 <input type="checkbox"/> (年 月)
【要件】診療放射線技師、臨床検査技師、臨床工学技士、救急救命士の各職種について下に掲げる行為のうちそれぞれ半数(切り上げ)以上を行った場合。